

目次



埼玉県立自然の博物館の使命について	2
I 沿革	3
II 組織及び職員構成	5
III 施設の概要	6
IV 展示の概要	7
V 平成30年度事業計画	
1 管理運営事業	8
2 展示事業	8
3 教育普及事業	9
4 資料収集整理事業	11
5 調査研究事業	11
6 2020東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた 文化プログラム構築のための取組	12
VI 平成29年度事業報告	
1 管理運営事業	13
2 展示事業	17
3 教育普及事業	22
4 資料収集整理事業	36
5 調査研究事業	38

埼玉県立自然の博物館の使命について

県立自然と川の博物館は、自然及び川と人々の暮らしとのかかわりに関する資料の収集・保管及び調査研究を行うとともに、その活用を図り、もって教育、学術及び文化の発展に寄与する博物館です。

自然の博物館は、「過去から未来へ埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、自然資料を収集・保管し、調査研究して将来へ継承し、情報を発信します。

また、学習を支援して、自然に関心を持つよう人材を育成し、様々な人との連携・交流を進めます。

「川の博物館」と連携し、県内唯一の自然系総合博物館として、秩父地域から埼玉全域へと視野を広げ、県民のみなさんとともに考え行動しながら、旺盛な博物館活動を展開していきます。

1 自然史資料を収集・保管し、調査研究して、将来へ継承します。(データバンク機能)

自然史分野を総合的に扱える県内唯一の博物館として、埼玉の自然とその変遷に関する生物・岩石・化石資料や、自然と人との共生に関する資料を収集・整理・保管します。また、これらの資料を調査研究し、埼玉の自然について明らかにしていくとともに、資料価値を高め将来へ遺します。

2 資料を活用し、多彩な情報を発信します。(情報発信機能)

「過去から未来へ 埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生」をテーマに、展示や教育普及活動などを通じて、県民をはじめとする広範な人々へ情報を提供します。利用者の多様なニーズに合わせ、自然に親しむための情報や調査研究に基づく学術情報など、魅力的な情報を発信します。

3 学習を支援し、自然に関心をもつ人材を育成します。(学習支援・人材育成機能)

学校や社会教育施設、地域社会を対象に、地域の自然や館有資料を活用した体験学習を推進・支援します。これらの体験学習や展示を通じて、人々の知的好奇心を刺激し、自然に関心をもつ人材の育成に貢献します。

4 さまざまな人々と連携・交流を進めます。(連携・交流・啓発機能)

自然に関心をもつ個人、地域社会、関係機関・諸団体と連携・交流を進めます。こうしたネットワークを少しずつ広げながら、人・もの・情報が集まる博物館とすることにより、相互のレベルアップを図っていきます。

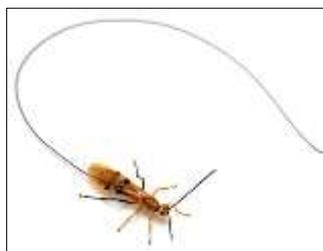
I. 沿革

昭和

- 51.12 埼玉県中期計画に基づき自然系博物館の建設計画検討
 - 52.5 準備事務を県民文化課から文化財保護課に引継
 - 52.11 県立自然系博物館建設基本計画決定
 - 52.11.16 埼玉県立自然系博物館建設基本構想策定協議会委員 14 名委嘱
 - 53.4.1 自然系博物館設立準備委員 2 名発令
 - 53.6.16 自然系博物館建設敷地決定（長瀬町）
 - 54.2.6 埼玉県立自然系博物館展示構想策定委員 4 名委嘱
 - 54.4.1 準備委員 4 名発令（2 名増員）、建設敷地等について秩父鉄道（株）と協定締結
 - 54.9.25 建築基本及び実施設計を前川国男建築設計事務所へ委託
 - 55.4.1 埼玉県立自然史博物館(仮称)準備事務所開所、職員所長以下 5 名発令
 - 55.4.17 埼玉県立自然史博物館(仮称)建築工事起工式挙行
 - 55.9.19 展示企画・基本設計委託（7 社）
 - 55.10.1 準備事務所職員 10 名発令（5 名増員）
 - 56.1.26 展示実施設計を(株)日展に委託
 - 56.3.31 建築工事完成
 - 56.4.1 準備事務所職員 19 名発令
 - 56.4.30 展示製作業務を(株)日展と契約
 - 56.10.30 展示工事完成
 - 56.11.10 埼玉県立自然史博物館条例、同管理規則施行
埼玉県立自然史博物館開館、館長須藤和人以下職員 18 名発令
 - 56.11.11 一般公開
 - 56.12.3 博物館法第 10 条による博物館登録
 - 59.4.1 館長 三友清史発令
 - 60.10.9 入館者累計 50 万人達成
 - 60.12.9～21 アケボノゾウ骨格化石発掘調査
 - 61.4.1 館長 紺野雄三発令
- ## 平成
- 1.4.1 館長 島田道郎発令
 - 2.4.21 入館者累計 100 万人達成
 - 3.3.12 日本生命財団より展示総合案内寄贈
 - 3.4.1 館長 大熊欽一発令
 - 3.10.19～11.24 開館 10 周年記念特別展「よみがえる太古の巨大ザメ」開催
 - 5.5.12 天皇・皇后行幸啓
 - 5.12.12 「日本地質学発祥の地」記念碑建立式典挙行
 - 6.4.1 館長 中島利治発令
 - 6.10.1 入館者累計 150 万人達成
 - 6.11.21 新化石種「チチブサワラ」公表
 - 7.2.28 身障者用エレベーター設置
 - 7.3.15 映像展示「地形の変遷」改修
 - 7.12.25 映像展示「ミクロ・マクロの世界」改修
 - 8.3.27 第 1～第 3 収蔵庫空調機オーバーホール
 - 9.3.31 吸収冷温水発生機修繕工事
 - 9.7.22 地形模型、変成岩パネル等展示改修
 - 9.7.25 秋篠宮殿下同妃殿下お成り
 - 9.10.31 冷却塔水処理装置工事
 - 10.2.28 特別収蔵庫空調機器交換工事
 - 10.4.1 館長 梅沢太久夫発令
 - 10.9.30 公共下水道接続工事
 - 11.3.19 「パレオパラドキシア」埼玉県天然記念物指定（埼玉指第 462・463 号）
 - 11.5.30 生物展示ホール「シャクナゲ咲く初夏の原生林」・「暗黒の世界鍾乳洞」にタッチライト設置
 - 11.7.17～8.31 特別展「アユの生活誌」をさいたま川の博物館と共催
 - 12.4.1 館長 増田逸朗発令
 - 12.8.15 入館者累計 200 万人達成
 - 12.8.23 生物展示ホール「みどりこい夏のアカマツ林」にタッチライト設置
 - 12.10.1 館長 大友務発令
 - 13.5.8 生物展示ホール「冬枯れの雑木林と池や沼」にタッチライト設置
 - 14.3.18 生物展示ホール照明改修
 - 14.3.26 身障者用駐車場改修
 - 14.6.21 パレオパラドキシア般若標本の産出状態レプリカを展示
 - 14.8.9 オリエンテーションホールの照明改修
 - 14.10.5～12.8 特別展「奥秩父の自然」開催

- 14.10.8～12.8 特別展「ヤマネー森に棲むもの 西村
豊写真展」開催
- 15.4.1 館長 谷井彪発令
- 15.10.4～12.9 特別展「里山の自然」開催
- 16.12.27 駐車場改修工事完了（第二工区）
- 17.3.22 「大野原産チチブクジラ骨格化石」埼玉県天
然記念物指定（埼玉指第 503 号）
- 17.4.1 館長 柿沼幹夫発令
- 17.10.8～12.4 特別展「石の用と美」開催
- 18.4.1 県立博物館施設の再編により「県立自然の博
物館」設置
- 18.4.1 館長 柿沼幹夫発令（川の博物館長と兼務）
- 18.7.22～9.3 特別展「巨大昆虫の世界」開催
- 19.4.1 館長 本間岳史発令（川の博物館長と兼務）
- 19.11.23 入館者累計 250 万人達成
- 20.2.2 展示室リニューアルオープン
- 20.4.1 館長 本間岳史発令（兼免）
- 20.4.1 環境担当（川の博物館常駐）を設置
- 20.7.20 ～8.31 特別展「巨大昆虫の世界 II」開催*
- 21.4.1 館長 鈴木敏昭発令
- 21.7.18～8.81 特別展「埼玉圏の原始・古代人」開催*
- 22.4.1 館長 井上肇発令
- 22.9.18～11.14 特別展「葉の世界—そのかたちと利用
を探る—」開催*
- 23.4.1 館長 根岸玲発令
- 23.9.1～24.10.5 施設改修のため休館
（講師派遣等館外で行う事業は実施）
- 23.9.17～11.20 特別展「発掘・発見 埼玉のふるさと
秩父のおごっつおう」開催*
- 24.4.1 館長 渋澤重雄発令
- 24.10.6 リフレッシュオープン
- 24.7.14～9.2 特別展「今だって氷河時代」開催*
- 25.4.1 館長 井上尚明発令
- 25.7.13～9.1 特別展「和船大図鑑—荒川をつなぐ舟・
ひと・モノ—」開催*
- 26.4.1 館長 井田秀夫発令
- 26.6.11～10.26 特別展「恐竜時代 ～海と陸の支配者
たち～」開催
- 26.10.4～11.24 特別展「荒川流域の鉱山と産業 ～地
下資源の利用と人々の暮らし～」開催*
- 27.7.11～8.31 特別展「うんち・糞・フン～ダンゴムシ
からゾウまで～」開催
- 27.7.18～8.31 特別展「魚と人の知恵くらべ～魚の生
態と伝統漁法～」開催*
- 28.3.1 国天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺
乳類化石群」指定（パレオパラドキシア及び
チチブクジラ計 3 件県指定解除埼玉指第
462、463、503 号）
- 28.4.1 館長 中村修美発令
- 28.9.24～29.1.15 特別展「現代有用植物～暮らしと植
物のステキな関係～」開催
- 28.4.1～6.19 特別展「都幾川・槻川」開催*
- 29.4.1 館長 木村博昭発令
- 29.9.23～30.1.14 特別展「秩父鉱山～140種の鉱物
のきらめき～」
- 29.7.15～9.3 特別展「神になったオオカミ～秩父山地
のオオカミとお犬様信仰～」開催*

*印 企画=自然の博物館、実施=川の博物館

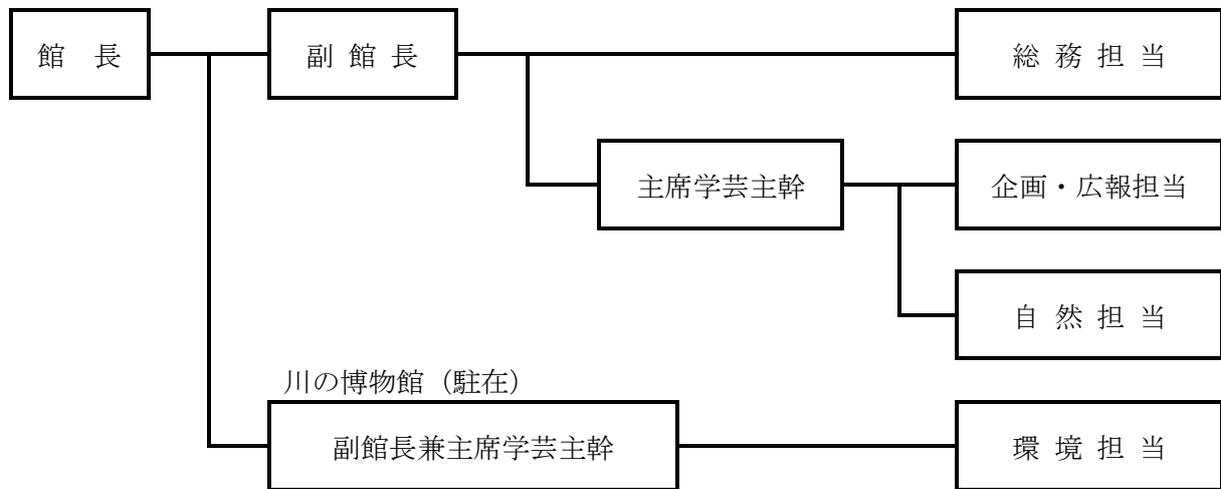


表紙写真について

表紙の写真は、ウマノオバチ *Euurobracon yokahamae* という寄生蜂（きせいばち）です。体長は 2 cm ほどですが、腹部には体長の 7～9 倍にもなる産卵管が見られ、体長と合わせると 20 cm を超えることもある特徴的なハチです。ハチというと毒針のイメージが強いですが、このハチに毒針はありません。長い産卵管をクリヤクヌギに刺しこんで、中にいる大型カミキリムシの幼虫に卵を産み付けます。表紙裏の写真は、まさに木の孔に産卵管を入れて産卵をしているところです。カミキリムシのいるクリ畑や雑木林に生息しますが、生息地は限られており、環境省や各自治体が発行するレッドデータブックでは絶滅危惧種に指定している地域もあります。埼玉県内では過去のわずかな目撃例しかなく、情報が不足していたため絶滅危惧種にはなっていませんでした。しかし、この 4 年の間に 10 を超える市町村で相次いで発見され、当館にも情報が寄せられています。なぜ突然県内各地で発見されるようになったのかはわかっていませんが、今後動向を注目していきたい昆虫の 1 つです。（平成 30 年度特別展「ハチを知る」展示内容より）

II. 組織及び職員構成（平成30年度）

1 組織



2 職員構成（平成30年4月1日現在）

館長 木村博昭
 副館長兼主席学芸主幹 石坂俊郎
 副館長 福島孝彦
 ○総務担当
 担当部長 無川禎久
 主任 諏訪淳
 主任 棚澤進也

○企画・広報、自然担当

主席学芸主幹 伴瀬宗一

○企画・広報担当

担当課長 秋山浩美
 担当課長 内田悟
 主任 相馬一行

○自然担当

担当課長 曾根崎猛史
 担当課長 森田知貴
 主任学芸員 井上素子
 学芸員 須田大樹
 学芸員 小林まさ代
 学芸員 北川博道
 学芸員 半田宏伸

○環境担当

学芸員 奥村みほ子
 主任専門員兼学芸員 中村修美
 ※ 副館長兼主席学芸主幹、環境担当は川の博物館駐在。

3 人事異動

平成30年3月31日

副館長兼主席学芸主幹 榆井尊（退職）
 総務担当担当部長 平沢正利（退職）
 企画・広報担当担当課長 野村浩（転出）
 環境担当担当課長 東宏昭（転出）
 総務担当主任 宮崎達弥（転出）
 自然担当学芸員 木山加奈子（転出）

平成30年4月1日

副館長兼主席学芸主幹 石坂俊郎（転入）
 主席学芸主幹 伴瀬宗一（昇任）
 総務担当担当部長 無川禎久（転入）
 企画・広報担当担当課長 秋山浩美（転入）
 自然担当担当課長 森田知貴（転入）
 総務担当主任 棚澤進也（転入）
 環境担当学芸員 奥村みほ子（転入）

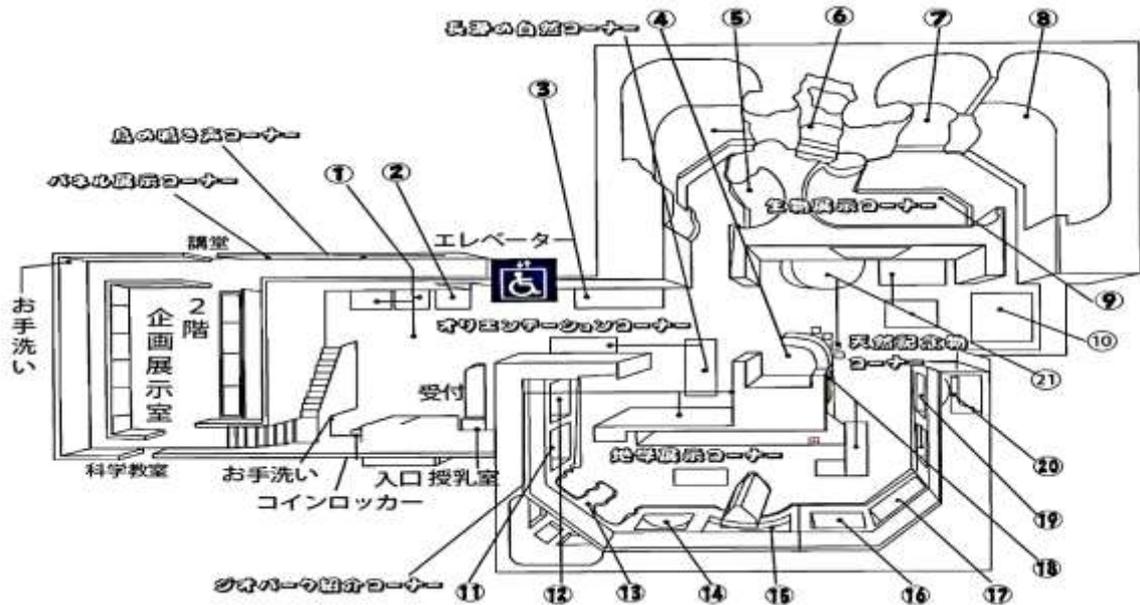
Ⅲ. 施設の概要

- 1 所在地 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬1417番地の1
- 2 敷地面積 9,948.76㎡
- 3 建物の構造及び床面積
鉄筋コンクリート、2階建、建築面積2,068.6㎡ 延床面積 3,022.29㎡
- 4 各部門及び各室の面積
 - (1) 展示部門 1,160.0㎡(38.4%)
エントランスロビー(78㎡)、オリエンテーションホール(254㎡)、地学展示ホール(303㎡)、生物展示ホール(342㎡)、さわれるはく製コーナー(5㎡)、企画展示室(150㎡)、ディスカバリーコーナー(22㎡)、カエデコーナー(6㎡)
 - (2) 教育部門 269.5㎡(8.9%)
講堂(150㎡)、準備室(43㎡)、科学教室(73.5㎡)、倉庫(3㎡)
 - (3) 研究部門 202.5㎡(6.7%)
学芸員室(132㎡)、図書室(70.5㎡)
 - (4) 技術部門 158.4㎡(5.2%)
化石処理室(27㎡)、石工室(27㎡)、植物標本製作室(27㎡)、動物標本製作室(27㎡)、工作室(23.6㎡)、くん蒸室及び同前室(16㎡)、暗室(10.8㎡)
 - (5) 保管部門 529.9㎡(17.5%)
第1収蔵庫(149㎡)、第2収蔵庫及び同前室(125.7㎡)、第3収蔵庫(28.8㎡)、特別収蔵庫(58.4㎡)、資料搬入口(36㎡)、荷解室兼展示準備室(90㎡)、搬入通路(42㎡)
 - (6) 管理部門 498.1㎡(16.5%)
館長室(47.3㎡)、事務室(63㎡)、会議室(54㎡)、警備員室兼清掃員室(20.8㎡)、倉庫(23.8㎡)、機械室(261.5㎡)、空調機械室(9.7㎡)、収蔵庫機械室(18㎡)
 - (7) その他(共通) 203.89㎡(6.7%)
エレベーター(11㎡)、湯沸室(3㎡)、トイレ(4ヶ所・66.8㎡)、階段・廊下(123.09㎡)



IV. 展示の概要

1 展示ホールの概要



2 展示テーマ (丸数字は上の図と対応している)

◇ オリエンテーションホール(コーナー)

- ・ (総合サイン) 過去から未来へ
埼玉3億年の旅 そして自然と人との共生
- ・ カルカロドンメガロドン①
- ・ 埼玉県シンボル②
- ・ 体験ゾーン
 - さわれるはく製コーナー③
(親しまれているけもの)
 - ディスカバリーコーナー④
(新たな発見や感動の体験)
 - 植物コーナー⑩

◇ 地学展示ホール

- ・ ジオパークインフォメーション(紹介)コーナー
長瀨の地質
秩父・長瀨の地質学史と博物館のあゆみ
長瀨の自然(コーナー)
- ・ 荒川上流部
- ・ 秩父帯の地層
 - 2億5000万年前の海の様子⑪
 - 秩父帯の地層⑫
 - 秩父鉱山⑬
- ・ 恐竜時代の地層⑭
 - 山中地溝帯
1億年前の海と陸のようす
恐竜ガリミムスブラツス
- ・ ソールマーク
- ・ 埼玉の変成岩⑮
- ・ 盆地と丘陵⑯

- ・ 砂泥互層
- ・ 第四紀の化石
- ・ 新時代の幕あけ
第四紀はじめの化石林—メタセコイア—⑰
- ・ 地層の断面
- ・ チチブクジラ頭骨化石
・ アケボノゾウがいたころのようす⑱
- ・ アケボノゾウ骨格復元模型⑱
- ・ 第四紀地形の変遷(ビデオ展示) ⑲

◇ 天然記念物コーナー

- ・ オガノヒゲクジラ頭骨化石⑳
- ・ パレオパラドキシア(全身化石・復元模型) ㉑

◇ 生物展示ホール

- ・ シャクナゲ咲く初夏の原生林⑤
- ・ 石灰岩にきざまれた自然の造形、鍾乳洞⑥
- ・ いろどられるブナ林と溪流⑦
- ・ 冬枯れの雑木林と池や沼⑧
- ・ みどりこい夏のアカマツ林⑨

◇ 企画展示室(2階)

○各ホールの展示とは別に、年3～4回テーマを設定し展示しています。

◇ パネル展示コーナー(2階)

○季節の移り変わりを写真中心に展示しています。

◇ 鳥の鳴き声コーナー(2階)

○身近な鳥のはく製を展示し、その鳴き声をおしゃべりマイマイ(展示物解説用具)により聞くことができます。

V. 平成30年度事業計画

1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を推進するため、自然の博物館全般の円滑な管理運営に努めます。

2 展示事業

展示を充実し、県民の多様なニーズに応えるため、次の事業を実施します。

(1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

① 常設展示の充実

ア オリエンテーションホール壁面に新たな展示具を設置し、はく製や標本の展示の充実を図ります。

また、生物展示ホール内のジオラマの補修を行います。これら改修に伴う工事期間は平成31年1月15日(火)～1月28日(月)の予定で、この期間を臨時休館とします。

イ 生物展示ホール及び岩畳紹介コーナーの亚克力展示ケース内季節展示物を定期的に交換し、資料の劣化を防ぐとともに目新しさを演出します。

② 「体験ゾーン」の維持管理

ディスカバリーコーナーや植物コーナーの更新と修繕を随時実施します。

(2) 特別展の実施

① タイトル：「ハチを知る」

期間：平成30年6月30日(土)～平成30年9月2日(日)

会場：企画展示室

概要：日本には4,500種を超えるハチが確認されています。巣を作るハチ、集団で暮らすハチなど、なかなか知られることのない様々な形や暮らしをしている「ハチ」を展示し紹介します。

② タイトル：「カモ・鴨 ～見・知・獲・食～」 (企画：自然の博物館、運営：川の博物館)

期間：平成30年11月3日(土)～平成31年1月6日(日)

会場：埼玉県立川の博物館 第2展示室及び第1展示室スロープ

概要：宮内庁の協力のもと、カモと人との様々なかかわり(自然史・狩猟・料理法・観察地)を紹介します。

(3) 企画展示の実施

① タイトル：「縄文有用植物展 ～クリ植えマメ播きウルシを掻いた！？～」

期間：平成30年4月1日(日)～平成30年6月17日(日)

会場：企画展示室

概要：狩猟採集のイメージが強い縄文時代の人々。実は意外と積極的に役に立つ植物を育てて利用していたことがわかってきました。現在の自然環境や植物利用にもつながる縄文時代の有用植物について紹介します。

② タイトル：「水晶 ～鉱物界へのトビラ～」

期間：平成30年9月22日(土)～平成31年1月14日(月)

会場：企画展示室

概要：六角柱状の形をし、無色透明にきらめく水晶は、美しいだけでなく、多くの鉱物の骨格をなす成分でもあります。地質学的にも重要な水晶の魅力を紹介します。

- ③ タイトル：「要注意！野外の危険なもの」
 期間：平成31年2月2日（土）～平成31年3月31日（日）
 会場：企画展示室
 概要：野外に潜んでいる危険なものを、動物・植物・地質の各分野から紹介します。

(4) パネル展示の実施

- ① タイトル：「埼玉の天然記念物」
 期間：平成30年4月1日（日）～平成30年6月29日（金）
 会場：2階廊下季節展示コーナー
 概要：埼玉県内にある国指定天然記念物を中心に、県や自治体が指定する天然記念物を紹介します。
- ② タイトル：「ハチの暮らしの1ページ」（特別展連携）
 期間：平成30年6月30日（土）～平成30年9月17日（月）
 会場：2階廊下季節展示コーナー
 概要：当館職員らが撮り集めた、一瞬で滅多に見ることができないハチ特有の行動の1シーンを写真で展示します。
- ③ タイトル：「ご当地キャラのモデルたち」
 期間：平成30年9月18日（火）～平成31年1月14日（月）
 会場：2階廊下季節展示コーナー
 概要：県や市町村のキャラクターには、その地域を象徴する様々な要素が盛り込まれています。これらのキャラクターのモデルとなっている生きものや自然を紹介します。
- ④ タイトル：「埼玉にも砂丘があるの？」
 期間：平成31年1月29日（火）～平成31年3月31日（日）
 会場：2階廊下季節展示コーナー
 概要：古利根川に広がる、日本でも最大級の面積を誇る内陸砂丘があることを紹介します。

(5) 共催展示の実施

- ① タイトル：「アンモナイト展」
 期間：平成30年7月14日（土）～平成30年8月27日（月）
 会場：羽生市立郷土博物館
 概要：中生代を代表する海の生きものアンモナイトとその時代を紹介します。
- ② タイトル：「第10回自然科学展 ～さいたまの動物たち～」
 期間：平成30年7月21日（土）～平成30年8月26日（日）
 会場：熊谷市立図書館
 概要：埼玉県に棲息する動物をはく製を展示して紹介します。

3 教育普及事業

県民の自然に関する関心と理解を深めるため、体験学習等の機会を提供します。

平成30年度は、次の事業を実施します。

- | | |
|--------------------|----------|
| (1) 自然史講座 | 10回（10日） |
| (2) 観察会 | 10回（10日） |
| (3) ミュージアムトーク | 41回（41日） |
| (4) 各団体との共催・協力イベント | 6回（10日） |

- (5) その他の事業 5回(21日)
- (6) 学校教育や社会教育への学習支援
理科や総合的な学習の時間、環境教育、キャリア教育等の支援 80回(80日)
- (7) 指導者対象講座の開催 6回(6日)
○教員のための博物館の日(授業に役立つ自然史体験講座)
※公立小・中学校初任者研修(みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修)内にて実施します。
- (8) 各種研修会・教育研究団体の受け入れ 9回(10日)
県立総合教育センター主催の教員研修会をはじめ、各種研修会や研究団体の研修や行事等を積極的に受け入れます。
- ① 中学校初任者研修(教科別研修・理科) 1回(1日)
- ② 中学校5年経験者研修(教科別研修・理科) 1回(1日)
- ③ 小・中学校初任者研修(みどりと川と埼玉の歴史を学ぶ体験研修) 6回(6日)
- ④ 所属校研修～社会貢献活動体験研修～(高等学校・特別支援学校) 1回(2日)
- (9) 博物館学芸員実習・職場体験等の受け入れ
- ① 博物館学芸員実習(7日間)
- ② 中学生職場体験実習(2～3日間)
- ③ 大学生県庁インターンシップ(5日間)
- ④ 障害者県庁職場実習(職場体験コース)(3日間)
- (10) 自然の博物館友の会の活動への支援
- ① 定期総会、野外観察会(5回)、交流会(1回)の支援
- ② 会報「みんなの自然史」第87～88号発行
- (11) 各種印刷物の刊行・配布
- ① 埼玉県立自然の博物館報 第13号
- ② 埼玉県立自然の博物館研究報告 第13号
- ③ ミュージアムカレンダー(イベント年間予定表)
- ④ 自然の博物館ニュースレター「澁」第31号～第32号
- ⑤ 特別展「ハチを知る」図録及びポスターとリーフレット
- ⑥ 川の博物館特別展「カモ・鴨～見・知・獲・食～」図録(執筆・編集)とリーフレット及びポストカード(企画・構成)
- ⑦ 企画展「水晶～鉱物界へのトビラ～」、「要注意!野外の危険なもの」のポスターとリーフレット
- ⑧ 展示解説リーフレット
- ⑨ 観察会や自然史講座のテキストや研究発表会の資料
- ⑩ 自然の博物館利用促進のためのリーフレット
- (12) ボランティアの受入
生涯学習や自己実現の場を提供するとともに、ボランティアを重要なパートナーとして博物館活動の質を高めます。
- ① 展示解説ボランティア
観覧者の要望により随時展示解説を実施します。
- ② 普及事業ボランティア
観察会・講座等の事業の補助を行います。

- ③ 資料整理ボランティア
専門知識のあるボランティアにより、標本化作業の補助を行います。
- ④ 調査・資料収集補助ボランティア
学芸職員とともに、博物館の調査研究・資料収集を行います。

4 資料収集整理事業

自然に関する資料を収集・整理・保管し、県民に供するため、次の事業を実施します。

- (1) 化石資料及び岩石・鉱物系資料の整理と登録
- (2) 維管束植物の標本作製と整理、登録
- (3) 非維管束植物の標本作製と整理、登録
- (4) 昆虫を中心とする無脊椎動物標本の同定と整理、登録
- (5) 脊椎動物の骨格標本及び触察剥製の作製と登録
- (6) 図書を除く二次資料の収集と整理
- (7) 定期刊行物を中心とする図書資料の整理
- (8) 「ジオパーク秩父」に関連する文献資料の収集と整理
- (9) 川の博物館の収蔵庫内に保管されている自然史系資料の整理
- (10) インターネットを通じての収蔵資料の積極的公開
- (11) 収蔵資料整理のための臨時休館（平成 30 年 9 月 3 日（月）～9 月 10 日（月）の予定）

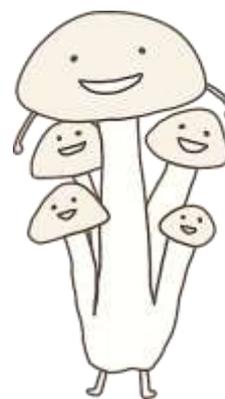
5 調査研究事業

- (1) 「埼玉の自然及び自然と人々との関わりに関する研究」
標記の総合研究テーマに基づき、分野ごとに研究テーマを設定し、調査研究を行います。研究の成果は、研究報告書等で公表し、展示・教育普及事業等で活用するように努めます。
分野別研究テーマ
 - ① 自然分野：埼玉の自然に関する研究
 - ② 環境分野：埼玉の自然と人々の関わりに関する研究
- (2) 特別天然記念物カモシカ保護対策事業特別調査
カモシカ保護地域における生息環境・生息状況・食害状況に関する特別調査を行い、カモシカ保護管理の基礎資料として活用します。
- (3) 自然遺産基礎調査「石灰岩地自然遺産」
平成 28 年度、平成 29 年度に実施した秩父地域一帯に広がる石灰岩地の現状や地形、動植物の生息・生育状況調査に係る報告書を刊行します。
- (4) 次年度以降開催の特別展・企画展に関する調査研究
- (5) 外部研究者の受入と活用
外部の研究者に施設や収蔵資料を活用してもらい、また、共同研究を行って博物館の基礎的力量を高めます。

6 2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた文化プログラム構築のための取組（国指定天然記念物関連事業を含む）

2020 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた埼玉県版文化プログラムを構築するために次のような取組を実施する。当館における取組は、国指定天然記念物（指定名称「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」）に対する適切な保護及び県民への情報発信が主な事業となっている。（下線は国指定天然記念物関連事業に該当するもの。）

- (1) 常設展図録の作成・販売
- (2) 音声ガイド機器の更新・多言語化
- (3) 特別展に向けた資料調査・収集
- (4) 「保存活用計画」策定に向けた委員会開催、原稿作成、調査、関係市町村支援
- (5) 指定された露頭の観察会の実施
- (6) 関連グッズの販売



当館のマスコットキャラクター
「おしめくん」

VI. 平成29年度事業報告

1 管理運営事業

埼玉の自然及び自然と人々の暮らしとの関わりに関する資料の収集、整理保管、調査研究及び教育普及、展示事業等を円滑に推進するため、自然の博物館全般の管理運営に努めました。

(1) 歳出決算

(単位：千円)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
管理運営費	19,000	21,579	16,674	18,834
資料収集整理事業費	807	688	517	647
展示・教育普及事業費	8,252	7,592	7,215	7,188
国指定天然記念物の魅力発信 とジオパーク秩父の活用事業			16,650	13,258
合計	28,059	29,859	41,056	39,927

(2) 平成29年度入館者状況

月	有料観覧者			無料観覧者				合計	開館 日数
	一般	学生・生徒	計	一般	学校等利用		計		
					校数	人数			
4	2,862	106	2,968	2,123	4	187	2,310	5,278	26
5	4,339	160	4,499	2,838	22	2,276	5,114	9,613	27
6	2,477	172	2,649	1,448	10	784	2,232	4,881	26
7	6,222	166	6,388	4,861	17	1,346	6,207	12,595	31
8	11,942	579	12,521	9,763	14	554	10,317	22,838	31
9	3,606	193	3,799	2,094	4	94	2,188	5,987	21
10	3,927	119	4,046	1,774	33	1,281	3,055	7,101	27
11	7,886	209	8,095	4,966	12	1,315	6,281	14,376	26
12	1,614	82	1,696	712	5	162	874	2,570	24
1	1,267	40	1,307	765	0	0	765	2,072	13
2	1,406	130	1,536	1,005	4	115	1,120	2,656	25
3	2,617	149	2,766	2,008	3	69	2,077	4,843	27
合計	50,165	2,105	52,270	34,357	128	8,183	42,540	94,810	304

(3) 施設の利用状況

各種団体の施設利用件数は、次のようになっています。

① 会議室 41件 (学校17件、一般24件)

番号	申請者	利用日
1	友の会役員会	H29. 4. 24
2	日高市立高萩小学校	H29. 5. 2
3	友の会総会	H29. 5. 14
4	秩父市立荒川西小学校	H29. 5. 24
5	所沢市立三ヶ島中学校	H29. 6. 7
6	武南中学校	H29. 6. 9
7	所沢おおぞら特別支援学校	H29. 6. 20
8	愛の家保育園	H29. 7. 6
9	八潮市立八條北小学校	H29. 7. 22
10	合気道拳法会	H29. 7. 23
11	所沢市立小手指中学校	H29. 7. 25
12	社会福祉法人 あかねの会	H29. 7. 29
13	さいたま市立第二東中学校	H29. 8. 1
14	ガールスカウト埼玉県第11団	H29. 8. 12
15	櫛引町2丁目子供会仲よしソフトボール部代表	H29. 8. 13
16	桶川市立桶川中学校	H29. 8. 30
17	友の会役員会	H29. 8. 30
18	埼玉県立東松山特別支援学校	H29. 9. 13
19	友の会編集委員会	H29. 9. 19
20	友の会幹事会	H29. 9. 26
21	上尾市立上尾中学校	H29. 10. 10
22	行田市立下忍小学校	H29. 10. 11
23	たんぼぼ第二保育園	H29. 10. 12
24	東京都立日比谷高等学校	H29. 10. 13
25	東久留米市立第三小学校	H29. 10. 18
26	桃の木保育園	H29. 10. 20
27	ガールスカウト埼玉県第45団	H29. 10. 22
28	長瀨町立長瀨第二小学校	H29. 10. 24
29	埼玉県立深谷はばたき特別支援学校	H29. 10. 26
30	総合教育センター	H29. 10. 26
31	埼玉県立長瀨げんきプラザ	H29. 10. 28
32	東京都立葛飾総合高等学校	H29. 10. 29
33	東今泉いきいきクラブ	H29. 10. 29
34	友の会役員会	H29. 12. 8
35	友の会 引継業務	H29. 12. 26
36	友の会 文章発送準備	H30. 1. 12

37	ボランティア研修会	H30. 2. 9
38	川越市古谷第二保育園	H30. 2. 23
39	友の会解放編集委員会	H30. 3. 2
40	友の会役員会	H30. 3. 11
41	社会福祉法人かがやきの会 かがやきホーム	H30. 3. 21

② 講堂 67件 (学校36件、一般31件)

番号	申請者	利用日
1	皆野町立国神小学校	H29. 4. 21
2	日野市立大阪上中学校	H29. 4. 27
3	皆野町立皆野小学校	H29. 4. 28
4	秩父市立西小学校	H29. 5. 2
5	日高市立高萩小学校	H29. 5. 2
6	慶應義塾幼稚舎	H29. 5. 11
7	熊谷市立市田小学校	H29. 5. 25
8	熊谷市立男沼小学校	H29. 5. 26
9	筑波大学附属中学校	H29. 5. 26
10	熊谷市立大原中学校	H29. 5. 30
11	埼玉県立鳩山高等学校	H29. 5. 31
12	所沢市立三ヶ島中学校	H29. 6. 7
13	北本市立南小学校	H29. 6. 7
14	日本山岳会 科学委員会	H29. 6. 10
15	北本市立中丸東小学校	H29. 6. 14
16	寄居町立鉢形小学校	H29. 6. 22
17	ボーイスカウト上尾4団	H29. 6. 25
18	新座市立第二中学校	H29. 6. 27
19	埼玉県立上尾特別支援学校	H29. 7. 6
20	あゆみ幼稚園	H29. 7. 11
21	鶴ヶ島市立鶴ヶ島第一小学校	H29. 7. 14
22	大和田放課後児童保育室	H29. 7. 17
23	埼玉県立熊谷女子高等学校	H29. 7. 19
24	花積幼稚園	H29. 7. 25
25	浅羽野地区子ども会育成連絡協議会	H29. 7. 30
26	(株)南海国際旅行	H29. 8. 2
27	越谷市立大袋北小学校	H29. 8. 2
28	ガールスカウト埼玉県第一団	H29. 8. 6
29	学校法人金子学園理事長	H29. 8. 8
30	川口ラグビースクール	H29. 8. 16
31	嵐山町教育委員会教育長	H29. 8. 18
32	あげお学童クラブの会	H29. 8. 20

33	桐生自然観察の森	H29. 8. 27
34	埼玉県立児玉白楊高等学校	H29. 9. 12
35	鳩山町立今宿小学校	H29. 9. 14
36	スマイレクラブ	H29. 9. 18
37	埼玉県立熊谷特別支援学校	H29. 9. 20
38	川越やまだ保育園	H29. 9. 22
39	青年学級にじのはらっぱ	H29. 9. 23
40	東京都北区青少年委員会	H29. 9. 24
41	小学校初任者研修	H29. 9. 26
42	中学校初任者研修	H29. 9. 28
43	小学校初任者研修	H29. 9. 29
44	小学校初任者研修	H29. 10. 3
45	中学校初任者研修	H29. 10. 5
46	小学校初任者研修	H29. 10. 6
47	目白研心中学校	H29. 10. 13
48	小鹿野町立小鹿野小学校	H29. 10. 13
49	武蔵野自然クラブ	H29. 10. 15
50	北本市立西小学校	H29. 10. 18
51	東久留米市立第七小学校	H29. 10. 19
52	明星保育園	H29. 10. 20
53	深谷市みらい幼児園岡部園	H29. 10. 20
54	子ども大学ちちぶ実行委員会	H29. 10. 21
55	秩父市立第一小学校	H29. 10. 25
56	総合教育センター	H29. 10. 26
57	国神保育園	H29. 10. 27
58	秩父市立吉田幼稚園	H29. 10. 31
59	小平市立小平第九小学校	H29. 11. 2
60	埼玉県立秩父特別支援学校	H29. 11. 10
61	自由学園女子部中等科	H29. 12. 12
62	友の会会員交流会	H30. 2. 4
63	防災学習センターイベント	H30. 2. 11
64	友の会「ささかごを作ろう」	H30. 2. 19
65	久那幼稚園	H30. 2. 23
66	小川幼稚園	H30. 3. 2
67	久米川BBC (ミニバスチーム)	H30. 3. 21

③ 科学教室 16件 (学校3件、一般13件)

番号	申請者	利用日
1	皆野町立皆野中学校職場体験 (7/13 まで)	H29. 7. 11
2	新座市立第四小学校	H29. 7. 23
3	高等学校5年次研社会貢献体験	H29. 8. 17
4	高等学校5年次研社会貢献体験	H29. 8. 18
5	東京電機大学理工学部	H29. 8. 23
6	教員のための博物館の日	H29. 8. 26
7	友の会役員会	H29. 8. 30
8	小学校初任者研修	H29. 9. 26
9	中学校初任者研修	H29. 9. 28
10	小学校初任者研修	H29. 9. 29
11	小学校初任者研修	H29. 10. 3
12	中学校初任者研修	H29. 10. 5
13	小学校初任者研修	H29. 10. 6
14	三浦半島活断層調査会	H29. 10. 11
15	奈良保育園	H29. 10. 20
16	中学校理科初任者研修	H29. 10. 26

2 展示事業

展示を充実し、県民の多様なニーズに応えるため、次の事業を実施しました。

(1) 常設展示の充実、改修、補修と維持管理

① 国指定天然記念物「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」コーナーの充実

ア オリエンテーションホールから地学展示ホールにかけて、国天然記念物「古秩父湾」やジオパーク秩父に関する展示の充実を図りました。

イ 地学展示ホール入口には「埼玉の大地の成り立ち」について紹介するために、約4億8千万年前の埼玉県最古の岩石や、約3億年前の埼玉県最古の化石をはじめ、時代ごとに主要な標本を展示しました。

② オリエンテーションホールの充実

ア 埼玉の自然について知っていただくため、県のシンボルである5つの生物の標本を展示しました。県の鳥「シラコバト」、県の木「ケヤキ」、県の花「サクラソウ」、県の蝶「ミドリシジミ」、県の魚「ムサシトミヨ」の標本やレプリカを用いて、それぞれの特徴や、シンボルに指定された理由を紹介しました。

イ 長瀨岩畳周辺で季節ごとに観察することができる動植物や鉱物の標本を展示した「長瀨の自然」コーナーを設置しました。

③ 展示資料および展示器材等の補充・管理

常設展示で使用している資料の補充や、展示台等の器材の補修・交換を行いました。

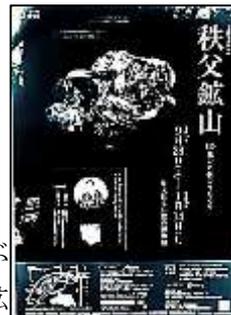
④ 「体験ゾーン」の維持管理

展示物の入替を行い、これまで行ってきた企画展を紹介するコーナーを設けました。

また、ディスプレイコーナーや植物コーナーの展示物の追加、修繕・入替えに努めました。

(2) 特別展の実施 * () は副担当

- ① タイトル：「秩父鉱山～140種の鉱物のきらめき～」
期 間：平成29年9月23日（土）～平成30年1月14日（日）
会 場：企画展示室、オリエンテーションホール
見学者：28,029名
担 当：井上（小林）
概 要：かつて日本有数の金属鉱山であった秩父鉱山は、140種にも及ぶ
鉱物を産出することでも注目されている鉱山でした。多種多様な鉱
物、武田信玄に端を発する採鉱の歴史、華やかだった鉱山町のくら
しなど、秩父鉱山のすべてを紹介しました。



- ② タイトル：「神になったオオカミ～秩父山地のオオカミとお犬様信仰～」
(企画：自然の博物館、運営：川の博物館)
期 間：平成29年7月15日（土）～平成29年9月3日（日）
会 場：埼玉県立川の博物館 第2展示室
見学者：25,257名
担 当：東（中村）
概 要：荒川上流域に色濃く残るオオカミ信仰を取り上げるとともに、ニ
ホンオオカミの生態と絶滅についても紹介しました。

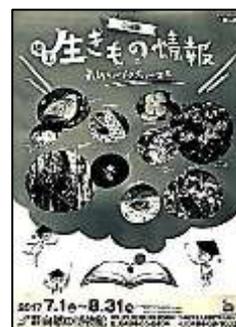


(3) 企画展示の実施 * () は副担当

- ① タイトル：「骨と皮～からだを支えるいろんなひみつ～」
期 間：平成29年4月1日（土）～平成29年6月18日（日）
会 場：企画展示室
見学者：18,417名
担 当：半田（曾根崎）
概 要：動物の骨と皮の役割や種類、外骨格や内骨格のちがいについて紹
介しました。



- ② タイトル：「埼玉生きもの情報～最新レッドデータブックの世界～」
期 間：平成29年7月1日（土）～平成29年8月31日（木）
会 場：企画展示室
見学者：35,433名
担 当：木山（半田）
概 要：最新の埼玉県版レッドデータブックの情報をもとに、埼玉の動植
物の最近の状況を紹介します。



③ タイトル：「縄文有用植物展～クリ植えマメ播きウルシを掻いた?!～」

期 間：平成 30 年 2 月 3 日（土）～平成 30 年 3 月 31 日（土）

会 場：企画展示室

見学者：7,477 名

担 当：須田（木山）

概 要：狩猟採集のイメージが強い縄文時代の人々。実は意外と積極的に、役に立つ植物を育て利用したことがわかってきました。現在の自然環境や植物利用にもつながる、縄文時代の有用植物について紹介しました。



(4) 季節展示の実施 * ()は副担当

① タイトル：「空飛ぶ！夜の生きもの」

期 間：平成 29 年 4 月 1 日（土）～平成 29 年 5 月 7 日（日）

会 場：2階廊下季節展示コーナー

見学者：10,027 名

担 当：曾根崎（半田）

概 要：コウモリやムササビの飛翔と生態を写真と解説で紹介しました。

② タイトル：「水辺の生きもの」

期 間：平成 29 年 5 月 9 日（火）～平成 29 年 9 月 3 日（日）

会 場：2階廊下季節展示コーナー

見学者：46,533 名

担 当：半田（須田）

概 要：動物や植物の宝庫である水辺で見られる生きものについて写真で紹介しました。

③ タイトル：「秩父鉦山～鉦山町の輝き～」（特別展連携）

期 間：平成 29 年 9 月 12 日（火）～平成 30 年 1 月 14 日（日）

会 場：2階廊下季節展示コーナー

見学者：28,679 名

担 当：井上（小林）

概 要：秩父鉦山で暮らしていた人は最先端の流行をとりいれて意外に華やかに暮らしていました。当時の生活のようすを写真で振り返りました。

④ タイトル：「埼玉の天然記念物」

期 間：平成 30 年 1 月 30 日（火）～平成 30 年 3 月 31 日（土）

会 場：2階廊下季節展示コーナー

見学者：7,529 名

担 当：北川（木山）

概 要：埼玉県内にある国指定天然記念物を中心に、県や自治体が指定する天然記念物を紹介しました。

(5) 共催展示の実施 * (出張展示含む)

- ① タイトル：「地面の下からこんにちは」
期 間：平成 29 年 6 月 10 日（土）～平成 29 年 7 月 9 日（日）
会 場：川口市立科学館
見学者：6,285 名
担 当：小林（北川）
概 要：国・天然記念物パレオパラドキシアなど、埼玉県の代表的な化石・岩石・鉱物を紹介しました。
- ② タイトル：「アンモナイト展・パネル展」
期 間：平成 29 年 6 月 17 日（土）～平成 29 年 8 月 29 日（日）
会 場：所沢市立図書館柳瀬分館・吾妻分館
見学者：37,296 名
担 当：北川
概 要：アンモナイトを中心に恐竜時代に生きていた生物についてパネル等で紹介しました。
- ③ タイトル：「アンモナイト展～古生物と地質学～」
期 間：平成 29 年 7 月 10 日（月）～平成 29 年 7 月 31 日（月）
会 場：飯能市市民活動センター
見学者：9,259 名
担 当：北川（小林）
概 要：アンモナイトを中心に恐竜時代に生きていた生物を紹介しました。
- ④ タイトル：「動物のからだとすみか」
期 間：平成 29 年 7 月 15 日（土）～平成 29 年 8 月 28 日（月）
会 場：羽生市立郷土資料館
見学者：4,120 名
担 当：曾根崎（半田）
概 要：羽生市を中心に埼玉県で見ることができる生きものとすみかを剥製と標本で紹介しました。
- ⑤ タイトル：「古秩父湾 太古の海の物語」
期 間：平成 29 年 12 月 9 日（土）～平成 29 年 12 月 17 日（月）
会 場：おけがわマイン
見学者：800 名
担 当：北川
概 要：地層やそこから見つかった化石からわかる秩父地域の 1500 万年前の環境について紹介しました。

(6) おしゃべりマイマイ(展示物解説用具)利用実績

月	貸出数	月	貸出数
H29年4月	416	H29年10月	278
H29年5月	490	H29年11月	294
H29年6月	270	H29年12月	99
H29年7月	586	H30年1月	43
H29年8月	1,068	H30年2月	135
H29年9月	369	H30年3月	256
		合計	4304



当館のマスコットキャラクター
「大野原治（おおのはらおさむ）」